

交通局



【平成31年度 予算要求の経営方針】

交通局は、「第2次北九州市営バス事業経営計画」に基づき、様々な取り組みを着実に実行し、安全・安心な運行の確保と利用者サービスの向上に努めるとともに、今後とも健全経営を維持しつつ、公営バス事業者として、市民の生活を支える足としての重要な役割を果たしていきます。

また、平成31年度は第三者を構成員とする検討会議による現経営計画の取組内容及び結果の評価・検証を行います。

交通事業会計要求総額 2,664百万円
(対前年度 +20.2%)

収益的収入		2,122百万円
収益的支出		2,096百万円

差引	26百万円
単年度資金収支	19百万円

【要求の基本的な考え方】

●安全・安心な運行の確保

交通事業者の最優先の使命である安全な運行を確保した上で、輸送力、効率性、利便性を確保した快適かつ安心して利用できるサービスを提供します。

●地域社会への貢献

公営バス事業者として、不採算路線の維持に努め、住民の生活を支え守るとともに、子どもや高齢者、障害者などの交通弱者の支援など、地域社会に貢献します。

●収入の確保

乗合バス事業では、地域と密着した利用促進や利便性の向上などに取組み、収入の確保を図ります。附帯事業では、貸切バスの稼働率を高めるため運転者の確保に努めるとともに、営業を強化し、収入の確保を図ります。

- ・バス利用促進の取り組み
- ・互換性のあるICカードシステムの導入

●路線の再編

宅地開発等の状況に応じ、路線の新設や増便等を行うとともに、複雑で経済的にも非効率となっている既存路線を、地域住民の要望を踏まえ経済性も考慮しながら、利用しやすく、分かりやすい路線に再編していきます。

●人材の確保

運転者不足に対応するため、バス運転者を継続的に確保する取り組みを強化するとともに、将来の運行管理部門を担う人材の確保、育成を行います。

●業務の改善

絶え間なく業務改善への取り組みを進め、更なるコスト削減を図ります。

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成31年度に実施することが確定しているものではありません。